



夢に向かって
は
翔ばたいて
「磨き・高め・支え」

大仙市立豊成中学校
学校報 NO.29
H 29. 10. 25
文責 今野敏行

なぜ？選挙をするのか？

社会における「選挙」は、私たち一人一人のために。私たちは、家族や地域、学校や職場など、さまざまな場で暮らしています。私たちの生活や社会をよくするためには、私たちの意見を反映させてくれる、代表者が必要であり、その代表者を決めるのが「選挙」なのです。18歳選挙権も始まり、生徒にとって選挙はぐっと近いものになってきました。

中学校では、生徒会の新体制づくりにおける次期リーダーを選出するための選挙を通し、選挙とはどういったものを学びながら、次代を担うものとして生徒会役員選挙を行います。この後には、各専門委員長や学級役員が選出され、新しい体制が築かれていきます。

1 みんなの代表

選挙によって選ばれた代表者は、生徒会や学級の代表者となります。したがって、その代表者は生徒会活動を行うに当たっては、リーダーとして、すべての活動が豊かになるため皆と力を合わせて生徒会を動かしていくこととなります。

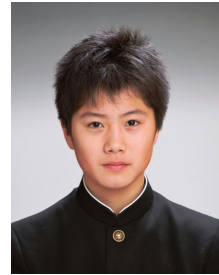
2 多数決

民主政治の原則である多数決は、人々の意見を集約し、決定する際に用いる方法です。より多くの支持を得た者を代表者とすることによって、安定化を図ります。ただし、すべてが多数決で解決できるものではありません。少数意見も反映させることがさらなる安定へつながります。

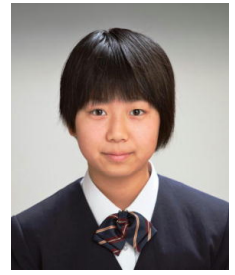
社会における「選挙」は、私たち一人一人のために。私たちは、家族や地域、学校や職場など、さまざまな場で暮らしています。私たちの生活や社会をよくするためには、私たちの意見を反映させてくれる、代表者が必要であり、その代表者を決めるのが「選挙」なのです。18歳選挙権も始まり、生徒にとって選挙はぐっと近いものになってきました。

新役員選挙公示

☆☆生徒会 会長 立候補☆☆



小松 楓



高橋心雪

☆☆生徒会 副会長 立候補☆☆

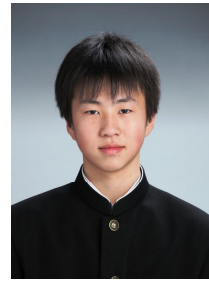


渡邊尊稀

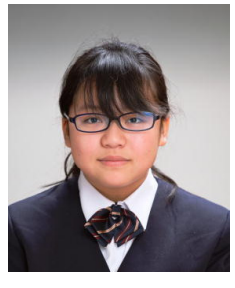


高橋怜海

☆☆生徒会 書記長 立候補☆☆



田口陸登



井上奈留実

進路学習授業研究会豊成大会

☆10月24日、本校を主会場に大曲仙北教育研究大会（進路指導研究会）が行われました。授業は2年A組、学級活動。「私の未来、ふるさとの未来」と題して、自分の将来の生き方について夢や希望をもち、それぞれの実現に向けた将来設計・進路計画を立て、将来に向け何を学び、どのような努力を積み重ね、どう生きたいのかを考えさせるねらいでした。また、「ふるさと」とどう関わっていくかといった現実的な問いもあり生徒たちは、「地元に残りたい」「残りたいけど夢が叶わない」「夢の実現のためには…」など単に将来になりたい職業を考えるだけでなく、将来なりたい自分と動機、そしてそのためにはどうする、を具体的に考えていました。思考－選択－実践に結び付く深まりのある授業の中で、生徒たちが主体的に取り組む姿勢に、参観していた多くの先生たちから「一人一人の生徒、学級のレベルが高い」「練り合いや学び合いが素晴らしい」といったお褒めの言葉をいただきました。着実に「生きる力」「確かな学力」が身につけてきています。

